



同窓会報

第 9 号

平成17年度総会・懇親会のお知らせ

日時 5月29日(日) 総会受付 午前10:30
懇親会受付 正午

場所 ホテルサンガーデン千葉(千葉パルコ前)
Tel: 043-224-1131

会費 6,000円

懇親会だけの出席も大歓迎です。

アトラクションもあります。お楽しみに。

卒業生はどなたでも出席できますので、お誘い合せの上ご来場ください。

お問い合わせ・お申込みは、5月20日までに同窓会事務局へ。

(Tel: 043-251-9221)

「シャロンの花」は校歌の歌い出しです。昭和26年、創立10周年記念に制定されました。当時教頭でいらした沢田繁二先生作詞のこの校歌は、他校にはない美しい響きを持つ詩で綴られています。同窓会報を創刊するにあたり、懐かしい言葉「シャロンの花」をタイトルにいたしました。

シャロンは、イスラエル西部の地名です。その地に咲く白い可憐なシャロンの花は、旧約聖書で「純潔」の象徴とされています。

平成17年3月7日発行

(表紙タイトル・イラストデザイン 昭和35年卒 北川広志)

発 行 者	千葉県立千葉東高等学校	編 集 部	千葉県立千葉東高等学校同窓会事務局内
	同窓会会長 井戸川 浩		〒263-0021 千葉市稲毛区轟町1-18-52 TEL 043-251-9221 FAX 043-255-6575

印刷所 (有)宮坂印刷 TEL 043-251-4537 FAX 043-251-4535





同窓会報「シャロンの花」 第9号発刊ご挨拶

千葉県立千葉東高等学校同窓会
会長 井戸川 浩

恩師の先生方はじめ同窓生の皆様におかれましては、お元気でお過ごしでしょうか？

同窓会報「シャロンの花」第9号をお届けいたします。

また、本年新たに卒業された全日制359名通信制272名の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。

皆さんは卒業と同時に、伝統ある本校同窓会の会員となりました。心から歓迎いたします。

同窓会は、卒業生の皆さんからの寄付で運営しております。厳しい財政の中で会報の発行のほかに、在校生徒の学習・課外活動への支援等、優秀な生徒を育成するためのさやかな支援を続けて参りました。

しかしながら、この「シャロンの花」の全員送付にはメール便の負担がもっとも大きく、早晩卒業生全員にこの会報をお届けするのが、困難になるのではないかと危惧しております。

インターネットの利用も、管理する人や機材維持費の問題、外注するにしても高額な負担です。

まだまだ検討の余地があり、鋭意研究を進めております。

今後とも、会員の皆様と母校を結ぶ架け橋として「シャロンの花」に暖かいご支援をお願いいたします。



お手打ちの生徒 なりしを同窓会

同窓会名誉会長（学校長）
寺田 信彦

先日、高校同期の同窓会に出席した。

皆、来年は還暦だ。出席して下さった恩師を囲んでの話や、在校時代の「危ない手柄話」に話が咲いた。

よく無事に卒業できたものだという思い出話も毎回出る。同期会出席の効能の一つは、人生における自分の位置を、原点を共有した他者との関係において確認できる点にある。誰からどのくらい離れたのか過去の原点からどの方向にどこまで来たのか、それらを実感できるのが同期会だ。人生における時空上の現在位置と方向の確認は、身を誤らないための必須条件といってよい。

さて、私事で恐縮だが、子育ての頃ヨットに凝ったことがある。やっと貯めたお金で中古の二人乗りディンギーを買い、小学生だった娘を乗せて仲間と鏡ヶ浦を帆走したものだ。

ヨット操船上の注意は人生航路帆走時の心得に似ている。例えば、位置確認と進行方向決定の重要さだ。ヨットは風向きと目標への角度を常に測り、帆と舵と船底から水中に下ろしたセンターボードとで操る。自艇にどんな風がどの方向から吹いているのか、常に気を配っておく必要がある。目先の些事に気を取られ、自艇の位置と風向きを確認とを

怠ると、後の修正が大変なことになる。正に人生と同じだ。たまに幸運な追い風を受けた時は要注意。風とともに疾走しているからスピード感がなくなるし、左右のバランスも悪くなる。一寸のミスで船首が海に突っ込む。風向きが少し変わったくらいでは向かう方向がズレたという実感が湧かない。気付いたら、時すでに遅しの事態になり勝ちなのだ。さらにヨットは減速すると舵の効きが悪くなる。浜辺が近づき、水深が浅くなればセンターボードを引き揚げなければならない。そうすると復元力が落ちる。だから発進より着艇が難しい。ヨットが向かい風でも一定の角度で風上に進めるのは、このセンターボードがあればこそだ。風上に進む時、その見えない部分の合力なくしては推力は得られない。これらの追い風注意、発進は易く帰岸は困難、復元力の源は水面下にあり、逆風時に大切にすべきは見えない部分等、諸事総て人生行路帆走に役立つ術といえよう。さらにヨットは風上にある目標に向かう時、まず到達可能な角度内に仮目標を定め、そこに到達してから帆や舵の角度を変えて本来の目標へ向かう。人生また然り。目標到達へのコースは何通りもある。但し方向転換の時には頭を低くし、己の足元に注意すること。それは反転してくる帆桁に張り飛ばされないよう、また脚下の小物（者）に足を取られ転落しないようにするためだ。これまた実社会でも身にしみて役立つ技だ。

そういえば高校時代、塀の上を歩いていたような男が、なぜか立派になって同窓会に来ていた。

西千葉 県立千葉東高校前入る

はり・きゅう・あんまマッサージ・指圧

湯浅治療院

日・祝日も診療

出張は夜12時まで

＝ 一定休日 金曜日 ＝

☎(043)251-8425(治療室)

252-2009(自宅)

〒263-0031 千葉市中央区松波4-13-6



千葉セラミック工業株式会社

代表取締役社長 森 信一

(昭和29年卒)

〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東2-10-14

TEL.043-243-7321 FAX.043-247-7451

平成16年度 千葉県立千葉東高等学校同窓会総会報告

平成16年5月23日(日) ホテルサンガーデン千葉にて、来賓・会員約85名が参集して同窓会総会が開催されました。

高橋副会長の司会進行によって総会が始まり、寺田名誉会長から挨拶とともに「母校生徒の文武両面にわたり努力している姿の報告と同窓会の支援に対する謝辞」を頂き、続いてご来賓の畠山一郎先生(元校長)から、「東高には教頭・校長と2度通算13年間に亘ってお世話になり、沢山の先生方とご縁を頂いた。自分は今年87歳になったが、自分より若い人が多く死んでいる。みんな健康で頑張る欲しい。自分は東高を母校と思っている」という心温まるご挨拶を頂きました。

続いて、藤井武彦常任幹事を議長に選出し、すべての報告審議事項が提案通り承認され、総会は滞りなく終了しました。

引き続き懇親会に入り、来賓の須田元校長先生から「昭和56年から58年まで校長をした。楽しい思い出とその後の楽しい生活ができています」旨のご挨拶があり、アトラクションに本校卒業生の元プロ歌手榎本(竹沢)光子さん(昭29卒)、県下有数のカラオケ名人吉橋重夫(昭34卒)さんの唄で盛り上げていただきました。

最後に、参会者全員で♪シャロンの花と…で始まる伝統の校歌を斉唱し、来年の再会を約して散会となりました。



サンイチ
シャロン31会

(旧 千葉三高 昭和31年卒業)

有志一同

母校の発展をお祈りします。

貸ビル業

JR蘇我駅西口前

新月

千葉市中央区今井2-4-7

043-261-2850

大森啓護 昭和31年卒・野球部

平成15年度千葉東高等学校
同窓会決算書

基金繰入金会計

平成16年3月末現在 ¥9,828,183

平成16年度千葉東高等学校
同窓会費予算書

総収入 ¥8,275,919
総支出 ¥7,874,255
残額 ¥ 401,664…次年度へ繰越

(単位:円)

Table with 3 columns: Item, Amount, Balance. Rows: 前年度繰越金, 利息, 計.

創立70周年記念事業基金

平成16年3月末現在 ¥2,497,148

(単位:円)

Table with 3 columns: Item, Amount, Balance. Rows: 前年度繰越金, 今年度入金分, 計.

収入の部 (単位:円)

Table with 2 columns: Item, Budget Amount. Rows: 1.会費, 2.入会金, 3.前年度繰越金, 4.同窓会活動維持基金, 5.総会費, 6.広告代, 7.雑収入, 計.

収入の部 (単位:円)

Table with 2 columns: Item, Actual Amount. Rows: 1.会費, 2.入会金, 3.前年度繰越金, 4.同窓会活動維持基金, 5.雑収入, 計.

支出の部 (単位:円)

Table with 2 columns: Item, Actual Amount. Rows: 1.運営費, (1)会議費, (2)総会費, (3)通信費, (4)慶弔費, (5)旅費, (6)雑費, 2.事業費, (1)同窓会報発行費, (2)母校部活動支援費, (3)進路学習支援費, (4)海外派遣支援費, 3.70周年基金, 計.

支出の部 (単位:円)

Table with 2 columns: Item, Budget Amount. Rows: 1.運営費, (1)会議費, (2)総会費, (3)通信費, (4)慶弔費, (5)旅費, (6)雑費, 2.事業費, (1)同窓会報発行費, (2)母校部活動支援費, (3)進路学習支援費, (4)海外派遣支援費, 3.予備費, 計.

会計監査報告

平成15年度同窓会会計の出納簿、証拠書類及び預金通帳等を詳細に検査した結果、処理が正確であり支出も適正であることを認めたので、ここに報告します。

平成16年5月15日

千葉県立千葉東高等学校同窓会

会計監査 石井洋子 ㊞
澤田繁信 ㊞

平成15年度事業計画実施状況

- 1. 総会 平成15年5月25日(日) ホテルサンガーデン千葉にて 70名が参集して実施
2. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
① 部活動(全国大会出場)支援 山岳部、通信制各部全国大会
② 海外留学引率者支援 H16. 2.28.~3.17まで国際交流プログラム米国派遣団としてミシガン州クラークストン高校へ派遣
③ 対外試合・発表会等支援 H15. 9.28 音楽部関東大会出場
④ 卒業式・入学式・体育祭・文化祭等行事参列・参観等
H15. 4. 8 全日制入学式参列
H15. 4.13 通信制入学式参列
H15. 5. 5 吹奏楽部定期演奏会参観
H15. 6. 1 通信制体育祭参観
H15. 6.12 マンドリン楽部定期演奏会参観
H15. 9.13 東雲祭参観
H15.11.17 東雲ネット“さわやかミニトーク”参加
H16. 3.12 全日制卒業式参列
H16. 3.14 通信制卒業式参列
3. 同窓会会報「シャロンの花」第8号発行 H16. 5. 1「シャロンの花」第8号 25,000部発行
4. 役員会(主要決定事項)
○平成15年5月11日(日) 総会準備、全日制男子バレーボール部関東大会出場支援決定
○平成15年6月15日(日) 総会反省会、新年度役員会開催日程検討
○平成15年7月6日(日) 基金応募者向け礼状書き70通 山岳部全国高校総体参加支援、全国定通大会出場支援

- 平成15年9月7日(日) 総会開催場所をサンガーデンにするかどうか検討
○平成15年11月16日(日) 総会開催場所をサンガーデンにすることを決定
○平成15年12月7日(日) 同窓会維持基金拡大方策について討議
○平成16年1月25日(日) 同窓会総会懇親会費を6000円にすることを決定、アトラクションについての検討、維持基金募集方法について討議
○平成16年3月14日(日) アトラクション出演者最終決定
○平成16年4月4日(日) 総会関係詳細検討、同窓会会計処理規定改定討議、同窓会役員改選(案)決定

平成16年度事業計画

- 1. 総会 平成16年5月23日(日) ホテルサンガーデン千葉
2. 同窓会会報「シャロンの花」第9号発行
3. 同窓生・恩師対外発表会等参観支援・顕彰活動
4. 同窓会維持基金・創立100周年祈念70周年記念事業基金等募金活動
5. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
① 進路学習支援(先輩による実業界報告と懇談、事業所訪問)
② 部活動(全国大会出場)支援
③ 海外留学引率者支援
④ 対外発表会等支援
⑤ 卒業式・入学式・体育祭・東雲祭等行事参列・参観等
6. 創立100周年祈念70周年記念事業推進活動
7. 支部発足支援活動
8. 役員会 原則隔月第二日曜日(8月・1月休会)(但し、通信制スクーリング開催日準拠)

活躍する 母校卒業生

(毎日新聞掲載)

県内の高校を卒業した人がその後どう活躍しているのか、毎日新聞は「母校と私」と題する企画記事を掲載するにあたり、東高校に3名の推薦を求めてきた。

学校は同窓会とも相談し次の3名を推薦、紙面を飾った。その抜粋を紹介します。

幕張プリンスホテル総料理長

山崎 信男さん (昭和39年卒) 2004.10.14 掲載

母校卒業時は東京オリンピック開催の年、「ホテルに入って洋食を学ぼう」と直ちに西武鉄道観光課に入社。ホテルの各部署で研修後、昭和39年東京プリンスホテルに調理担当として配属。時には先輩の味を盗もうと洗い場で鍋の底に残ったソースをなめたり、自宅でも生米をフライパンで炒めてピラフの練習をしたり、研究に余念が無かった。「お陰で高校の時は体重が53キロ、今は75キロ。職業病だ」と屈託が無い。以来、高輪プリンス、料理解長として、箱根プリンス、サンシャインシティプリンスを経て幕張へ。

子供も憧れるシェフ特有の白く高い帽子(トック)をつけたこの道40年のベテランはいう。「(料理の道は)まだまだこれからだよ。」

中央大学文学部教授

須田 朗さん (昭和40年卒) 2004.10.21 掲載

東北大学大学院哲学専攻修了後、弘前大学助教授を経て現職。世界的なベストセラーになった「ソフィーの世界」の監修訳で著名。日本語訳だけでも200万部というからすごい。高校の頃から「本が好きで学問がしたい」と思っていたそう。

高校卒業後、山形大学文理学部に進む。最初は歴史学を学ぼうと思っていたが、恩師笹谷教授の分かりやすく面白い講義にのめりこんだ。2年生の時にはたった一人でギリシャ語の講義を受けた。「先生との出会いが無かったら今の自分はいない」と振り返る。

ウィーンで研究していた時ドイツ語版「ソフィーの世界」に出会った。帰国すると監修訳の話がきた。

「人生は出会いですね。」

気象予報士

河合 薫さん (昭和59年卒) 2004.11.11 掲載

高校時代は剣道部で部活三昧。剣道を続けるために恩師のいる東高近くにある千葉大に入学。剣道は4段に。卒業後全日空の客室乗務員に。平成6年退社。かつて住んだ米国でウエザーキャスターが活躍していることに触発され、気象予報士に。同年6月から11年までテレビ朝日「ニュースステーション」のお天気キャスター。11年から14年までTBS「いちばんエクスプレス」のレギュラー。温度と湿度の予測を基にした「インフルエンザ予報」を編み出したりもした。その後天候と健康とのかかわりに興味を持ち、東大医学部修士課程に進み専攻は「健康社会学」。

「いろんな出会いがあって今日がある。ゴールはまだ先。」

平成16年度サイエンスパートナーシッププログラム

(千葉大学との高・大連携プログラム)

千葉大学と本校は平成13年度に高・大連携授業の協定を結んだ。それにより本校では、生徒が千葉大の所定の授業を受け、一定の条件を満たした者について大学の習得証明に基づき「大学における学修」として所定の単位を認定している。

今回は、10月31日母校化学実験室で「薬と科学を知ろう」ということで千葉大学大学院薬学研究院の西田篤司教授と院生の指導を受けた。講義と実験そしてレポート

提出である。「観察が実験の命。同じ実験でも人によって見えるものが違う。センスの差だ。徹底して記録しなさい」という講義を受ける。(2004.11.1.毎日新聞に掲載) 続いて11月13日今度は千葉大の薬学部実習室で山本友子教授による「微生物と薬を知ろう」と言うテーマで実習(培養細菌に抗生物質を添加するとどうなるかを観察)、レポートを提出。1年生が大半で講義はやや難しかったかも知れないが皆真剣に取り組んだと講評があった。

特別インタビュー

母校は今…

寺田校長に聞く

井戸川：いつも同窓会の活動には、種々ご支援いただきありがとうございます。

寺田：いえいえ。いつも同窓会には、本校の行う学校行事に対する参加や生徒の部活動への支援等、格別のご支援をいただき感謝しております。

井戸川：もっとご支援申し上げたいのですが、財政面では必ずしも豊かとは言いがたく、もっと卒業生からの善意の支援を仰がなければと思っております。ところで今日は、千葉東高校はどういう学校であるべきか、学校を取り巻く様々な変化の中で千葉東高校はどう変貌を遂げていくのか、どう変貌させなければならないのか、校務の責任者としての日ごろのお考えや思いなどをお聞かせいただきたいのですが…。

母校はどうあるべきか…

寺田：そうですね。先ず本校の教育目標から申し上げます。

本校は、学力の充実、自立的行動と責任、基礎学力の向上という努力目標を掲げ、知・徳・体のバランスの取れた視野の広い人物の育成に力を注いできました。そして何よりも生徒一人一人と向き合い、きめ細かな指導を手厚く行う学校としても定評があります。

指導に当たる教員については、生徒の知・徳・体のバランスよい発達に寄与し、生徒に愛情を注ぐ教員を求めています。

井戸川：進学状況も優秀と思いますが？

寺田：はい。過去3年間の実績は以下の通りです。

平成15年度 国公立大学 81名・私立大学 402名

平成14年度 国公立大学 59名・私立大学 333名

平成13年度 国公立大学 73名・私立大学 412名



尚、15年度については現役国公立大学合格者81名が県下で1位、千葉大学の現役・浪人合格者48名は全国1位です。この中には通信制からの合格者も1名含まれています。

次に社会の変化として「少子高齢化」という問題がありますね。平成元年度に中学を卒業した生徒は県全体で約9万7800人でした。それが平成20年には約5万4000人になります。平成13年には県立高校再編計画策定懇談会が高校の再編計画を発表しました。計画によれば、10年後をメドに県立高校は現在の142校から125校ないし130校になります。本校の通信制は、平成18年度には独立して大宮高校の地へ行き、19年度から完全に独立校になることになっています。

一方、学び方の多様化、生徒の多様化という問題があります。平成12年度、公立高校からの中退者は3,900人、そういう生徒がやり直しのきく教育システムの充実が求められております。

更に大学のほうも大きく変化してきています。国立大学の独立行政法人化、再編・統合や司法制度改革によるロースクール構造、生き残りをかけた私立大学の改革などです。

従って、生徒も偏差値で大学を選ぶのは危険です。自分の志を大切に、何が学べるか、就職はどうか、自分の人生で大学をどう位置付けるかなど自分で調べ、考えることが必要ですね。

進学状況は県下1位、 全国1位というのがあります

井戸川：母校は進学指導重点指定校になったとお聞きしていますが？

寺田：はい。県の教育委員会からこの指定を受けた時、職員共々考えましたのは本校の将来像でした。

将来、創立100周年を迎えたとき、母校はどんな学校になっているべきか。そういう観点から新たなコンセプト作りをすることにしました。検討の結果、得られた学力向上を目指すコンセプトの一つは「教養の復興」です。現代日本の教育は教育の根幹そのものを失いつつあるのではないかという心配があります。すなわち、習熟への忍耐と工夫、職人技への誇りと敬意、心技体の均衡、社会への志、また人や心とのふれあいや感動による陶冶の可能性、科学する面白さ、暗記力・洞察力の養成、学問の楽しさ・厳しさ等。こういうものを復活するべき、復活したいという思いがあります。

また文科省が指定する「学力向上フロンティアハイスクール」という研究指定事業（H15～17年度）も行っています。このテーマとしては「生徒の進路希望の達成と、自己実現をサポートできる魅力ある質の高い教

育活動の展開」です。やることとしては新入学生に対する指導の充実、土曜活用の補習授業、教育相談の充実、在校生については進路説明会や大学入試問題の研究、千葉大との高大連携などです。

井戸川：なるほど。学問の根幹は大切ですね。進学や知識だけではない、人間としての生き方というか、あるべき姿を追い求める人間学にまで高められた考え方に共感しますね。

寺田：はい。「教養の復興」とは今の公立学校の教育が失いつつある何かを原点に向かって見直そうという本校教育の心意気・知性でもあると思っています。しかも、21世紀の知性はもしかすると西洋の哲学からというよりは東洋的なもの



の見方から産まれるのではないか、そういう気もしています。どちらにせよ未来を担う若者には、知性と教養、そして世の為人の為という志を持ってもらいたいと思います。

世の為、人の為の学問でない

井戸川：世間では、学力・体力・モラルの低下、学校の危機管理体制の甘さ、学級崩壊、不祥事、無気力児童の増加等々数え上げたらキリが無いほどいろいろ言われていますが、千葉東高校の卒業生がそれらを正道に戻す原動力になって貰いたいですね。

本日はお忙しい中、短時間でしたが母校の発展に希望の持てるお話をありがとうございました。

(聞き手：同窓会会長 井戸川 浩)

私と東高校

千葉東高校同窓会副会長 山中 操

昭和41年4月はれて、千葉東高校に入学することが出来ました。見る事、聞く事真新しいことばかり、期待に胸をふくらませていたところです。

入学式の日には、多くの色々な部活の先輩が誘いにきており、大変熱心だと感じました。そこで、目をひいたのがラグビー部の勧誘でした。虎のこのジャージ当時テレビ等で「青春とは、なんだ」が放映されていたと記憶にあり、すぐに入部を決定したのでした。家に帰り両親に話しをしたところ、「何の考えもなく入部するとは何ですか、もう少し、じっくり考えてから事に移すものです。」と大変怒られました。ラグビー部は、大変伝統があり、千葉県でも屈指の強豪チームでもありました。練習は厳しく、先輩も決して優しいとは思いませんでした。何人かの生徒は、途中で退部する人もいました。

私は、さほど、運動神経も良く体力もあった方ではなかったのですが、毎日毎日、練習を続けてきた成果で少しずつ上達したような気がしました。お蔭様でポジションもナンバー10、スタンドオフというスクラムから出たボールをオンラインに廻す重要なポストでありました。ボールを落とすとノックオンという反則で相手ボールになってしまうので、ボールとの慣れが必要であり、相当練習しました。3年間、関東大会等も2回出場する機会を得て、まさしく人生の悔いのない学生生活を送った満足感でいっぱいでした。今も、先輩と同級生と会うと当時の事でもちきりになり、一気に学生時代に戻ってしまうわけです。

現在、東高校は千葉大学の合格者は全国No.1であり、今後、単位制を導入していくとの方針を打ち出しました。スポーツと学業を両立することは、大変難しいとは思いますが、若いときはしっかりと心身を鍛え、是々非々が判断出来るよう努力することが必要と考えます。

3年間の担任の先生及び先輩方に深く感謝と敬意を表します。

人間生命の運動法則を研究する科学

千葉人間科学協会

理事長 小塚興作 (高校第11回卒)
千葉市若葉区桜木町330-50
043(231)9215



宮川電気通信工業株式会社

〒260-0018 千葉市中央区院内1-2-1
TEL 043-225-1311 (大代表音声メール)
043-225-1451 (保守・障害受付)
FAX 043-222-1330

代表取締役社長 宮川欣丈 (昭和37年卒)
専務取締役 宮川忠史 (昭和39年卒)
TEL 043-225-1312 (ダイヤルイン)
morita@miyakawadentsukou.co.jp

国際交流に参加して

引率教諭 佐藤啓之

今回私は英語科の勝田先生と共に、2003年度国際交流プログラム米国派遣団の一員として、十名の生徒を引率して、ミシガン州クラークストン高校およびニューヨークへ、約3週間行って参りました。今回の派遣は千葉東高校にとって実に3年ぶりとなります。ご存知のように、2001年9月の同時多発テロ、および翌年の米国軍のイラク開戦などの理由で、中止を余儀なくされてしまったからです。二度にわたる派遣中止は大きな打撃となり、再開に向け



て数々の障壁を乗り越えなければなりませんでした。

まず1つ目に、生徒の安全確保の問題です。

2つ目は、中断によって先輩から後輩へと受け継ぐものが無くなってしまった点です。

そして3つ目は、国際交流プログラムそのものの存在意義です。

結果的に、無事実現した今回の派遣プログラムは、これらの問題点を跳ね返して余りある大きな成果を生み出したと、私は確信しております。生徒たちは、はじめはホームステイや学校研修で言葉の壁に対する大きな不安を抱えていましたが、次第にひとり一人の生徒なりに上手にコミュニケーションを図るようになっていきました。

3週間というわずかな期間の中でも、若く柔軟性に富む生徒たちは、目覚ましい変化を遂げます。その達成感・充実感は、参加した生徒の中に国際交流の心を育む炎を、今後絶えることなく灯し続けるに違いありません。

最後に、この国際交流プログラムへのご理解とご協力をいただいた同窓会に心から感謝申し上げますと共に、今後もこのプログラムが千葉東高校の特徴的な行事の一つとして継続してゆくことを祈念して、結びの言葉とさせていただきます。

東雲ネット さわやかミニトーク 盛会裡に終了

去る平成16年11月17日(月)母校セミナーハウスにて恒例の「東雲ネット」“さわやかミニトーク”がJR西千葉駅長、とどろき保育園長、同窓会、PTA、教職員の参加を得て開催されました。

このプログラムは学校とそれを取り巻く周辺地域との建設的な協調、地域コミュニティー作り、開かれた学校作り、ネットワーク作りなどを目指し千葉県教育委員会が学校を通じて取組む《学校を核とした100ヶ所ミニ集会》事業であります。

最初に前年実施して好評だった「授業公開」を実施。生徒の真剣な授業風景を参観し、続いてセミナーハウスに移り懇談に入りました。

学校側からは、

- 地域社会や同窓会、PTAに支えられて充実した高校生活を送らせ、やがては社会に恩返しさせたい。
- 全日制は国公立現役合格70名を目指す。

- 通信制は、平成18年には大宮高校に移管されるので準備中であること。

地域からは防災に関する心配事として、

- 高齢化しているので心配。
- 轟保育所の避難所が千葉大に指定されており、遠いことへの不安。

また、本校生徒に関することとして、

- JR西千葉駅長の井上さんから「高校生の乗車マナー向上についてのお願い」と題する要望書が読み上げられました。社内の携帯電話、土足、通路座り、ごみの散らかしなどの乗車マナーを向上させるために生徒指導強化、教師PTAの巡回指導への協力を得たいというものなど。

- 地域からは、道路一杯に広がって歩かないようにと注意があり、良い先生を沢山集めて欲しいという要望がありました。

最後に学校長から、国公立進学者数は千葉東が県内で一番、千葉大進学者数は千葉東が全国一という紹介がありました。

今後更に地域・学校・家庭の連携を深め、より良い地域コミュニティーを作ろうと合意表明があり盛会裡に終了しました。
(教諭 佐藤 啓之)

母校山岳部全国第3位入賞の快挙

—島根インターハイ登山の部—

〔記録〕全国高校総体登山競技

(島根県三瓶山城、琴引山城、大万木山城、毛無山城登山コース)

- ・男子団体最終成績 3位 千葉東
- ・女子団体最終成績 15位 千葉東

「無心が生んだ銅メダル」

山岳部顧問 高山 雅夫

島根インターハイ登山大会の出発前、何の前触れもなく男子選手4人全員が自主的に坊主頭にしてきました。選手の1人がこう言いました。「坊主にすれば邪念がなくなり大会に集中できるんです」。私は目を細めてうなずきました。そして千葉東の生徒に感謝しました。スポーツではマイナーな山岳部の生徒が髪の毛を切ってまで努力しようとしているこの姿に感動すら覚えました。

大会前、3日間の強行日程での早朝から暗くなるまで現地見調査、さらに疲れているにも関わらず深夜遅くまでの大会資料作成と、本当によく頑張っていました。まるで初体験のインターハイを楽しんでいるかのような様子でした。大会中も、時ならぬ2つの台風の直撃を受けるなど悪天候の中で、強豪チームを相手に堂々と3泊4日を歩き通し、読図と計画書でそれぞれ1箇所間違えた位で大きなミス

もなく表彰式の結果発表を迎えることができたのです。

全国46都道府県の優勝校46チームが整列する中で、審判長が男子順位の発表を始めました。……「第3位……千葉県立千葉東高等学校！」確かに千葉東の名前でした。なんと選手4名は全員2年生、もちろんインターハイ経験者のいない新しいチームです。無心で大会に臨んだ結果でした。まさに彼らはチャレンジャーでした。そして無心で勝ち取った全国3位の銅メダル。これは全国約2000校ある山岳部の中で3番目の山岳部であるというありがたい評価を頂けたということです。

今年の8月には、地元千葉県でインターハイ(2005千葉きらめき総体)が開催されます。連続出場的女子も全国15位まで成績が上がってきました。6年連続のインターハイ出場(千葉県代表)で先輩から引き継いだノウハウは知り尽くしているはずですが、地元開催というプレッシャーに負けず、全国一の山岳部という人生最高の一瞬を迎えられるように頑張りたいと願っています。

最後になりましたが、平成10年の高知インターハイ以降、教職員の方々をはじめ、同窓会の方々、OB会の皆様方には毎年多くの御声援、御支援を頂きました。ありがとうございました。まだまだ山道は続きますが、一步一步頂点を目指して努力していきたいと思いますので、今後とも千葉東高校山岳部を温かく見守って下さるようお願いいたします。

部活から

世界に一つだけの響き

～マンドリン部定期演奏会報告～

6月5日、第42回マンドリン部定期演奏会を聴きに行った。

第1部は吹奏楽曲、クラシック曲やオリジナルのマンドリン楽曲、女子十二楽坊の曲からなる。第2部はギターパート、少人数ながら変幻自在に幾度と姿を変える。第3部と第4部は寸劇や伝統曲「ひき潮」を交えたポップスで、豪華絢爛たるソロパートの揃い踏みが素晴らしく、万感の思いをぶつけて最高潮に達し、美しい笑顔と感動の涙で締めくくる。

世界に一つだけのメンバーによる、世界に一つだけの響きが作り上げられる。その響きは聴衆の心を奥底まで揺さぶり、聴衆は自らに重ね合わせて心の中に走馬灯を回す。この心の交流は大きな感動となる。部員らはこの感動から、目標をやり遂げた自信や仲間との熱い絆を得て、これらを人生を逞しく生きる上での支えにして、新たな道を歩き出す。

定演の会場ではこのように、関わる人全ての思いが複雑に交錯する。同窓生の皆さんも是非一度、この独特の

響きを、見て聴いて感じ取ってみてはいかがでしょうか。

(同窓会書記 市原 俊介 高校第45回H5卒)

音楽部の活動について

音楽部顧問 青木 美和子

8月29日に千葉県文化会館において第59回千葉県合唱コンクールが行われました。このコンクールは現在内容的にもっとも充実した権威あるコンクールとして知られており、県内有数の高校が皆参加しています。

今年は、過去の経験の中でもトップレベルの演奏が多く、音楽には似つかわしくない「激戦」とか「接戦」といった言葉がピッタリのコンクールでした。

結果は、千葉東高校、船橋高校、千葉女子高校が同部門金賞を受賞し9月26日の関東合唱音楽コンクール(新潟)に進むことになりました。

金賞受賞にいたるまでには、3年生7名を含む35名の生徒は夏休みを殆ど返上して、本当に熱心に、地道に練習してくれました。この35名の生徒達と毎日悩みながら共に作り上げた音楽が評価されましたことを私は心から嬉しく思っております。同窓会の皆様には昨年も大変お世話になり、心から感謝しております。

各地で同期会・支部会・地区会 活発に開催

◆高女2・3回生同期会（昭和21・22年3月卒業）

▷平成16年6月19日

千葉ワシントンホテル 銀坐29名参加

<幹事から一言>

和気藹々楽しい会合でした。

尚、本会はこれまで皆様のご協力で毎年定期的に開催してまいりました。お互いの親睦と消息情報交換など同窓生としての絆を確かめ合ってきました。しかし、忍び寄る高齢化は避けられず、こうした会のあり方も考え直さざるを得ない時期が来たように思われます。

そこで今年の会合を最後に、高女2・3回生同期会の解散を決めました。

今後は有志による会合ということで三々五々集まれる方が集まって懇談するという形式にしました。

本年は、6月18日（土）千葉ワシントンホテル桜の間で正午から15時まで開催しますのでお気軽にお集まり下さい。食事や座席はご自由です。お問い合わせは鯉淵、永江、加藤（照）まで。（高女第2回昭21卒 小林美代子）



◆昭和32年卒（高校第9回）同期会

▷平成16年11月6日（土）

千葉市京成ホテル“ミラマール”にて開催

<幹事から一言>

1年10ヶ月ぶりの開催です。当日はお世話になりました恩師の先生方もお招きし、70名の同期生とともに学生時代を懐かしく思い出しながら語り合い、楽しいひと時を過ごしました。65歳66歳に成りましても皆元気ですが、多くの友人が宇宙へと旅立っていると思うと寂しい限りです。母校の発展を祈りながら今回参加できなかった方々も是非次回（平成18年5月中旬を予定）はお会いしたいものだと再会を約しました。（高橋 一郎 同窓会副会長）



◆昭和33年卒（高校第10回）同期会

▷平成16年11月6日（土）

千葉市“ほていや”にて、草葉 章先生、木島与左衛門先生をかこみ、同期生（1組～7組）51名で開催しました。

<幹事から一言>

大変盛り上がりました。

（幹事 三須良治ほか各組から1名）



◆昭和43年卒（高校第20回）同期会

▷平成16年6月20日（土）

千葉市“ほていや”に約100名の同期生が集合

<幹事から一言>

この会は5年ごとに開かれています。久しぶりの会合で賑やかに旧交を温めました。

（宮内 恒雄）



◆第一回 衛生看護科同窓会120名参集！！

▷平成16年12月23日（土）

ばるるプラザ千葉にて、恩師 野村 柔先生、永井弘子先生、三輪清子先生はじめお世話になった先生方に同窓会井戸川会長、山中副会長が招かれ衛生看護科第1回～18回までの卒業生540名あまりのうち120名の参加を得て開催されました。ほとんどが県内の病院に勤務する現役の総婦長、婦長、看護師の皆さんです。

最初に同窓会衛生看護科支部代表に中村千枝子さん（高衛1 S44卒）を承認し、第1回から第18回までご指導いただいた永井弘子先生から「今日の日を忘れずに、やさしい気持ち・看護の心を大切に生きて欲しい」とのご挨拶を頂きました。

また同窓会長からは、120名もの多くの方が集まったことに敬意を表していること、「シャロンの花」を是非読んで欲しいこと、基金への協力をお願いをいたしました。

永井先生を囲み、第1回生から順に近況報告が始まり、学生時代の楽しく懐かしい思い出話などで盛り上がりながら時の経つのを忘れて語り合いました。

今回出席できなかった方々にも次回は是非お会いしたいものだと再会を約束して散会となりました。

（同窓会会長 井戸川 浩 高11回S34卒）



創立100周年記念
70周年記念事業基金

同窓会活動維持基金

引き続いてご協力を

60周年記念事業では多くの皆様からのご芳志をいただき、誠にありがとうございました。また、同窓会活動維持基金によりまして今回も皆様に会報をお届けすることができました。

メール便の負担が大きい中、毎年、継続的に会報を発行するためには、一人でも多くの方々からのご賛同を得て基金の充実を図らなければなりません。

お手数ながら、同封の郵便振替用紙にて1口2千円、何口でも結構ですので、ご送金下さいますようお願い申し上げます。

郵便振替口座 00160-8-148932
千葉東高等学校同窓会

・同窓会役員会より・

※同窓会報の編集スタッフ及び総会の企画・運営等、同窓会の仕事に興味を持ち、お手伝いして下さる方を募集しております。

※クラス会・同期会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載いたしますので、簡単な紹介記事と写真（白黒・カラー・デジタル写真なんでも可）をお送りください。

※会員の住所・氏名等の変更はご連絡くださいますようお願いいたします。

上記のいずれのお問い合わせ・ご連絡は、同窓会事務局までお願いいたします。

同窓会事務局：千葉県立千葉東高等学校内
〒263-0021 千葉市稲毛区轟町1-18-52
TEL：043-251-9221 FAX：043-255-6575

みこいのあ山にかこまれた幼稚園

若松台幼稚園

当園は、3千坪を越える園庭、四方木々に囲まれた自然の中で、

- ・友だちとのふれあいを大切にする。
- ・情操豊かな心と自立心の芽生えを養う。

集団の中で基本的習慣は勿論のこと、望ましい経験を積み、個性を伸ばすことを念頭に日々研鑽を重ね、年齢に応じ同じ経験をさせ、どの



子にも喜びと自信が持てる保育活動を展開し、毎日の積み重ねと愛情を持って元気・根気・やる気がそだつよう日々努力しています。

理事長 田中 信行(昭45卒)

〒264-0021 千葉市若葉区若松町401
TEL 043-232-5177
FAX 043-232-5178

編・集・後・記

今号も多くの方々のご寄稿を頂きました。紙面の都合で割愛せざるを得なかったところはお勘弁ください。

第8号で基金のピンチを訴えたところお一人で10万円もの高額のご寄付を頂いた方がおられました。母校に寄せるお気持ちに心から感謝申し上げます。(編集委員一同)

アパマンショップ

NETWORK

ISO 9001 認証取得!

アパート・マンションお部屋探しは...

賃貸 売買
土地活用



株式会社 高品ハウジング

代表取締役 山中 操 (昭和44年卒)

本店	千葉市若葉区高品町1585-1	TEL043-232-7342 FAX043-232-0696
都賀駅前支店	千葉市若葉区西都賀3-19-4	TEL043-290-1008 FAX043-287-0400
都賀支店	千葉市若葉区都賀3-4-1	TEL043-226-4521 FAX043-226-4520
四街道支店	四街道市大日460-1	TEL043-304-2820 FAX043-304-2821
千葉駅前支店	千葉市中央区弁天1-2-1	TEL043-206-1777 FAX043-206-1778

木造在来

特許第1833643号

鉄骨アーム工法

株式会社 石川建設

代表取締役 石川 公之
宅地建物取引主任者 (昭和45年卒)

松ヶ丘支店 千葉市中央区大森町477-3 ☎043(264)5111(代)
白旗支店 千葉市中央区白旗3-11-19 FAX043(264)5113
本社 千葉市中央区大森町438
千葉県知事 免許不動産(8)第4549号 建築(般)第516号

発明者 石川 公之
特許 第1678947号 木造住宅の筋違窓
特許 第1833643号 2階建木造住宅の組立工法

ギャレックスチバ株式会社

—営業品目—

学校体育衣料/スポーツ用品/カバン・校章
名札・腕章・旗/トロフィー/インテリア用品
オリジナルTシャツ・トレーナー > プリント加工
イベントジャンパー

代表取締役 澤田 繁信 (昭和46年卒)
〒260-0834 千葉市中央区今井3-1-9
TEL 043 (261) 4528
FAX 043 (265) 5446
E-mail:jericle@olive.ocn.ne.jp